

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

		基準年月日		令和5年8月1日							
調書番号	06-05	所管部	農政部	作成責任者	農村振興局農地整備課長 榎 研一						
				担当係	水田整備係（内）27-568						
I 基本事項（基準日時点）											
事業種別	道営土地改良事業費（農地整備事業（中山間地域型））										
ふりがな 地区名	るもい	市町村名	留萌市	総事業費	1,352 百万円						
負担割合	国	55.0%	道	32.5%	市町村	-	その他	12.5%			
		743 百万円		439 百万円		- 百万円		169 百万円			
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●良質米の安定生産及び転作作物の生産性向上を図る。 ●農作業効率の向上及び水管理の合理化により労働時間の縮減を図る。 ●担い手への農地集積を図る。 ●安全・安心な食の生産をささえる。 										
	【アウトカム】等 ●事業実施前（H29年（2017年））の担い手農地集積率（受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合）は99.5%だが、本事業を実施することにより事業完了翌年には99.6%と上昇が見込まれる。										
事業概要	本地区は留萌市東部の沢沿いに広がる農村地帯であり、高品質米の生産地である。この高品質米を安定して生産するため、安定した用水の供給に対応できる用水施設の整備を行う。また、現況50a程度の区画を1ha程度の規模へ大区画化し、併せて排水改良のために暗渠排水や排水路の改修など総合整備を行う。	工事費内訳	受益面積	264ha → 258ha	(百万円)	(百万円)	(百万円)				
			受益戸数	26戸	前回評価	今回評価	増減額				
			○用水路	7,532m → 7,834m	341	433	92				
			○排水路	634m → 1,095m	20	45	25				
			○区画整理	55ha → 49ha (整地、暗渠排水)	305	353	48				
			○暗渠排水	43ha	124	190	66				
			○測量試験費		166	311	145				
			○用地費及び補償費	用地買収、電柱移設ほか	14	20	6				
			計		970	1,352	382				
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	経済・産業	中項目	農林水産業の持続的な成長	小項目	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり	施策名	農業農村整備の推進		
		【計画名：第6期北海道農業・農村振興推進計画 P23】（生産基盤の強化） スマート農業技術や高収益作物の導入を容易とするほ場の大区画化や農地の排水対策など、農業の生産力と競争力の強化に向けた整備を推進する。									
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	関連する指標 食料自給率（カロリーベース） 令和12年度 目標値：268%									
II 公共事業評価経過											
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初 前回再評価	H30(2018)	H30(2018)	H36(2024)			970	315			
今回評価			R5(2023)	R7(2025)	5	1,352	439	158	826	61%	
変更理由・内容(概要)	(1) 現地測量精査による増額 (2) 暗渠排水落水のための排水路の追加による増額 (3) 軟弱地盤に対応する工法採用による増額 (4) 確定測量及び買収費の追加による増額 (5) 家屋調査の追加による増額 (6) 仮設工の追加による増額 (7) 自然増及び消費税率変更による増額 (8) 河川改修事業等との調整に伴う事業期間の延伸										
III 事業採択前の状況											
1. 事業採択に至る経過と背景	本地区は、留萌市東部の沢沿いに広がる農業地帯であり、低タンパク質の良食米の産地でもある。本地区では昭和40年代から区画整理を始め農業用排水施設なども整備されてきたが、未だに整備されていない小区画の圃場や土壌状況により排水性の悪い圃場が点在しており、農作物の安定供給や効率的な農作業の妨げとなっていることから、本事業の整備により農業生産の体質強化を図るため、平成28年(2016年)にるもい土地改良区から事業採択に向けた要望が出された。										
2. 事業検討の手續(住民ニーズの把握等)	<ul style="list-style-type: none"> ●H28年(2016年) 2月 南るもい土地改良区から留萌振興局へ整備要望 ●H28年(2016年) 4月 振興局で地域の整備要望を踏まえ調査を開始 ●H29年(2017年) 10月 土地改良法に基づき事業申請 ●H30年(2018年) 4月 事業採択 										
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ●留萌市 受益面積264ha→258ha、受益戸数26戸 										
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容						
	列マツ川総合流域防災工事河道計画	北海道	令和2年～		河川改修工事						

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画													
	施工(工種)区分	工事内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		進捗状況	事業費(百万円)	
	用水路	L=7,834m			<	L=3,549m			>	L=4,485m		61%	433	
	排水路	L=1,095m				L=92m				L=1,003m		18%	45	
	区画整理	A=49ha			<	A=28ha			>	A=21ha		47%	353	
	暗渠排水	A=43ha			<	A=30ha			>	A=13ha		78%	190	
	測量設計費	調査・設計				実施設計、施工管理等				施工管理等			76%	311
用地費及補償費	用地買収・物件補償				用地買収、電柱及び水道移設				電柱及び水道移設			22%	20	
(2) 進捗状況														
●事業は概ね予定どおり進捗しており、今後の実施に当たっても特に大きな支障となるものはない。														
<table border="1"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">b</td> <td>a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。</td> </tr> </table>													b	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。
b	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。													
2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)				備考							
	項目	R5 現在	項目	R5 現在	<ul style="list-style-type: none"> 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」(農林水産省R4改正)に基づき算出。 効果は、「事業ありせば」「事業なかりせば」の比較による作物生産の増減、作物品質の向上、営農経費及び維持管理費の節減ほか、災害(洪水等)の発生に伴う農作物等の被害が防止又は軽減される効果、国産農産物の安定供給に対する「安心感」を貨幣換算により算出 経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR5年度に現在価値化しているため事業費と異なる。 農業用排水施設と接続する上位用排水施設等にかかる費用を「関連施設」として計上している。 維持管理費節減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の増減及び事業を実施せず現施設がなくなった場合の維持管理費の増減の合計より、マイナスとなる。 									
	作物生産効果	2,015	農業用排水施設	691										
	品質向上効果	1,047	区画整理	476										
	営農経費節減効果	971	暗渠排水	249										
	維持管理費節減効果	△ 89	関連施設	589										
	国産農産物安定供給効果	251												
合計(B)	4,195	合計(C)	2,005											
B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度)【事業採択】 前回算定時B/C : 2.18 (合計(B) : 2,884 合計(C) : 1,321) 変更理由 : <ul style="list-style-type: none"> 営農経費節減効果算定時の用水なかりせばシナリオの変更による総便益の増加 事業費増加に伴う総費用の増加 諸係数・単価等の時点修正による効果額の変更 													
R5 現在														
2.09														
3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容										縮減額(百万円)		
	施工の最適化	整地工における突均し工法の採用。										10		
V 評価														
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ●本地区は、前歴事業により区画整理を始め農業用排水施設なども一部整備されてきたが、未だに整備されていない小区画のほ場や土壌状況により排水性の悪いほ場が点在しており、農作物の安定供給や効率的な農作業の妨げとなっていることから、本事業により農業生産の体質強化を図るものである。 ●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 													
	a	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。												
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題													
	<ul style="list-style-type: none"> ●本地区は、留萌市が作成した田園環境整備マスタープランにおいて、環境配慮区域に位置付けられている。 ●下流河川の生態系への配慮のため、雨天時の施工中止など、濁水が発生しないよう施工を行っている。 													
	(2) 事業推進に対する住民の動向													
●事業着手以降、事業促進期成会を通じて早期完成に向けた要望が行われている。														
(3) その他の課題														
●特になし														
3. 事業達成の見込み	●今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はなく、予定年度内での事業達成が見込まれる。													
	a	a : 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b : 課題はあるものの達成は可能である。 c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。												
4. 対処方針	●事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和7年度の完成を目指して事業を継続する。													
	a	a : 継続 b : 終了 c : 休止 d : 中止												
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有								

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価：該当なし 再評価：該当なし
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

補足資料

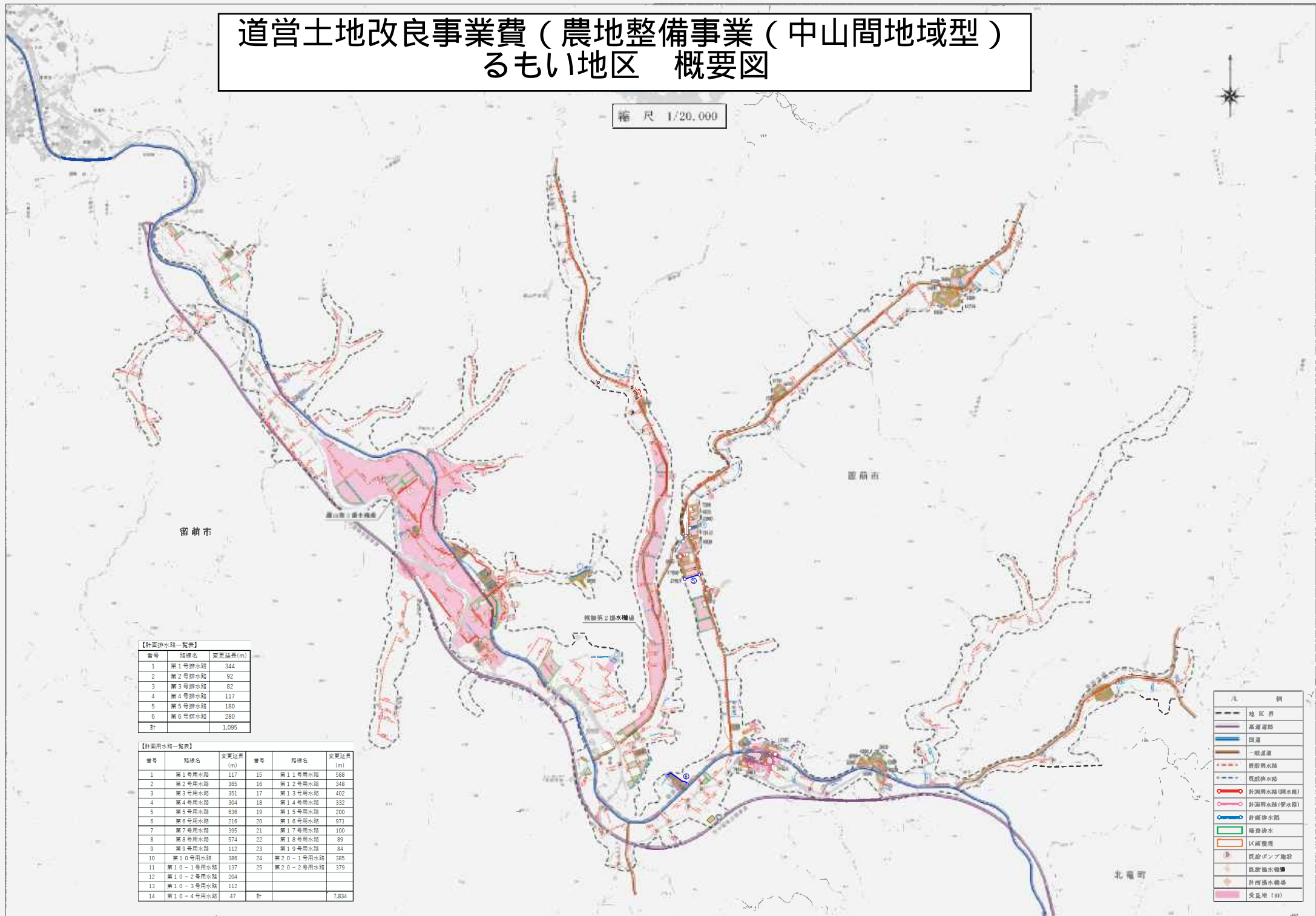
VII 事業計画変更

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H30 (2018)	H30 (2018)			H36 (2024)	5	970			
変更①	1回目			R5 (2023)	R4 (2022)	R7 (2025)		1,352	158	826	61%
変更②											
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											

変更理由・内容	<p>変更①：事業期間・事業内容・総事業費の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水路について、測量設計精査による事業量・事業費の増 ・排水路について、詳細測量の結果、暗渠排水整備予定箇所の排水路が切深不足であったことから整備を追加することによる事業量・事業費の増 ・用水路について、軟弱地盤が分布していることが判明し、詳細ボーリング調査及び基礎杭を追加したことによる事業費の増 ・用水路工について、詳細測量の結果、新たに用地確定測量及び用地買収費が追加になった事による事業費の増 ・区画整理について、軟弱地盤が分布していることが判明したため、近隣家屋の家屋調査を追加した事による事業費の増 ・暗渠排水について、資材運搬路の地耐力不足に伴い、敷鉄板による仮設工を追加した事による事業費の増 ・資材、労務単価の上昇の変更による事業費の増 ・河川改修事業との事業間調整及び地権者調整に伴う事業期間の延伸
---------	--

道営土地改良事業費（農地整備事業（中山間地域型） るもい地区 概要図

縮尺 1/20,000



【計画排水路一覧表】

番号	路線名	延長(m)
1	第1号排水路	344
2	第2号排水路	92
3	第3号排水路	82
4	第4号排水路	117
5	第5号排水路	180
6	第6号排水路	280
計		1,095

【計画用水路一覧表】

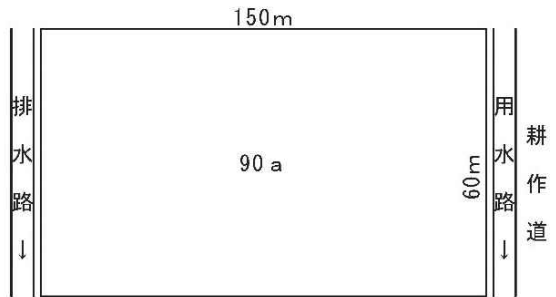
番号	路線名	延長(m)	番号	路線名	延長(m)
1	第1号用水路	117	15	第11号用水路	588
2	第2号用水路	365	16	第12号用水路	348
3	第3号用水路	351	17	第13号用水路	402
4	第4号用水路	304	18	第14号用水路	332
5	第5号用水路	636	19	第15号用水路	200
6	第6号用水路	216	20	第16号用水路	971
7	第7号用水路	395	21	第17号用水路	100
8	第8号用水路	574	22	第18号用水路	89
9	第9号用水路	112	23	第19号用水路	84
10	第10号用水路	386	24	第20-1号用水路	385
11	第10-1号用水路	137	25	第20-2号用水路	379
12	第10-2号用水路	204			
13	第10-3号用水路	112			
14	第10-4号用水路	47	計		7,834

凡 例

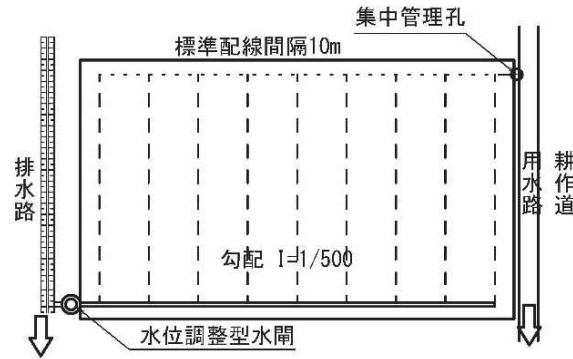
---	地区界
—	高速道路
—	国道
—	一般道
---	既設用水路
---	既設排水路
---	計画用水路(排水路)
---	計画排水路(排水路)
---	計画用水路
---	計画排水路
---	区域整理
⊕	既設ポンプ施設
⊕	既設抽水機場
⊕	計画抽水機場
⊕	計画抽水機場
■	受益地(田)

標準構造図

区画整理工標準区画

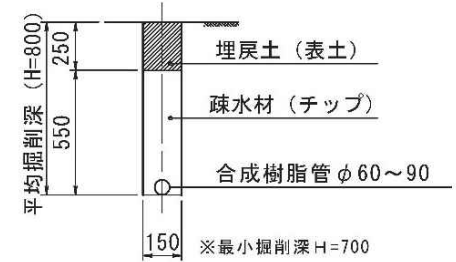


暗渠排水(田)標準配線図



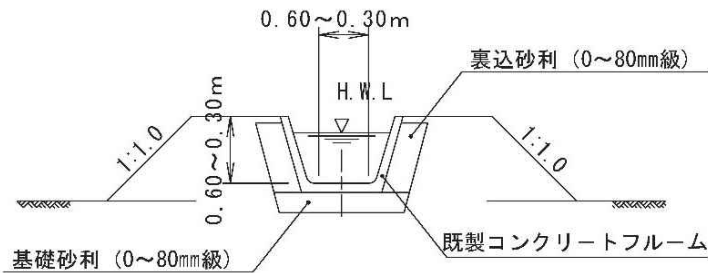
暗渠排水(田)標準断面図

(トレンチャー掘削)

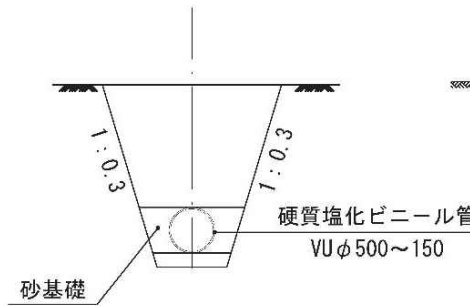


用水路(開水路)標準断面図

B=0.60m~0.30m, Z=1:0.3
H=0.60m~0.30m, Z=1:0.3



用水路(管水路)標準断面図



排水路標準断面図

B=0.3m, Z=1:0.3
H=0.4m~0.3m, Z=1:0.3

